



産地・メーカーをたずねて
株式会社マルタ
株式会社エースプラン
熊本県

土づくりにこだわり 安心・安全でよりおいしいものを

コープファミリーの産直産地であるマルタは北海道から沖縄まで1,600を超える契約生産者が出資してつくった株式会社です。その生産者のお一人、熊本県上益城町で特別栽培のじゃがいもやにんじんを生産するエースプランの長尾成敏さんにお話を伺いました。



株式会社マルタの生産者のお一人
エースプラン 長尾 成敏さん



産直 特別栽培マルタの
新メークイン
700g(サイズおまかせ)
〈次回7月3回〉322円(税込)

--- Memo ---

長尾さんからのメッセージ

このたびの令和6年能登半島地震で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。私の会社からも、能登にいる友人に向けてカセットコンロとガス、コーヒーやスープなどの温かい飲み物を何箱か送りました。熊本地震のときはだんだん暑くなる時期だったので、冷蔵庫が使えない中、釣具屋の友人に分けてもらった氷で冷やした飲み物を近所の方と分け合いました。震災で、生活環境が整ってこそ前を向いていけると実感しました。人と人のつながりが一人ひとりの気持ちを強くしてくれました。

熊本地震直後の冷蔵庫
停電のため出荷待ちのにんじりは廃棄となった

episode 1 マルタとのつながりは37年前から

マルタの歴史は熊本県田浦町で有機農業を志した甘夏みかん農家の親子2人から始まり、土づくりにこだわった南九州の生産者が集まって1975年に設立しました。社名の由来は親子の故郷にちなんで「田」に「マル」でマルタ。現在、有機農業や環境保全型農業などの持続的な農業経営をめざすという理念に賛同した全国の生産者と契約し、その農産物を全国の生協などへ販売する青果物卸売事業を行っています。

長尾さんはにんじんや里いも、さつまいも、じゃがいもなどの根菜を中心に生産しています。今年還暦を迎える長尾さんは23歳頃にマルタに出会い、それからずっと生産者として関わってきました。

episode 2 熊本地震で被災

長尾さんは2016年4月に起こった震度7の熊本地震で被災しました。「前震の2日後16日に起きた本震で自宅は全壊し、畑や作業場も全て使えなくなりましたが、家族と従業員、仲間の生産者も皆無事だったので、とにかく前を向くしかないという気持ちだけでした」。発災当時はちょうどにんじんや新玉ねぎの収穫時期。大量の野菜をすぐに掘り出して洗浄、選別、出荷しないと全てダメになってしまいます。「被害の少なかった近隣の農家仲間がにんじんを掘ってくれました。そして長崎の農家に収穫した野菜を持って行って洗浄や選別をしてもらいました。県内外の皆の協力のおかげでやっと出荷することができました。野菜の輸送費もかかり価格は高くなりましたが、復興応援セールで購入してもらおうことができ本当にたくさんの方に助けていただきました」と長尾さんは当時を振り返ります。

episode 3 土づくりにこだわった特別栽培

大規模農業化が進む中、加工用農産物を作る生産者が増え、形や大きさを揃える必要のある消費者向けの農産物を作る生産者は減っているそうです。

しかし、長尾さんは土づくりにこだわり、化学肥料も農薬も半分以下に抑える特別栽培を消費者のために続けています。「化学肥料や農薬に頼っていると土がダメになって、継続しておいしい野菜が作れなくなるんです。その作物に合った肥料成分を調整することで元気な野菜に育ちます。それに、化学肥料で簡単に育ったものはやっぱり日持ちも悪いんです。野菜は市場価格に左右されて採算が合わないときもありますが、生協向けに作る野菜は購入してくれる組合員がいるので、計画的に作付けや設備投資ができるんです」。

安心・安全でおいしい長尾さんの農産物はマルタを通して全国の生協や契約栽培先に出荷されています。長尾さんは今日も大きなトラクターに乗って、おいしい野菜を毎年作れるように土づくりを大切にしています。

株式会社マルタの産直産地マップ

コープファミリー掲載の野菜・果物
全国の産地をリレーして旬のこだわり農産物を1年中安定してお届けしています。

